

自然再生のための 住民参加型生物保全水利施設管理システムの開発

情報経営部 経営チーム TEL:022-383-8119

研究の目的

農業用水路の生物保全機能の実態を明らかにし、自然再生に向けて、住民参加による生物保全・再生のための水利施設管理システムを開発します。本研究は、古川農業試験場、内水面水産試験場、林業試験場および宮城大学と連携し進めています。

研究成果

宮城県と埼玉、愛知、石川県、東京大学等が農林水産高度化事業により「住民参加型生物保全水利施設維持管理マニュアル」を開発しました。

本マニュアルは、住民参加と生物保全を活用し、水路の維持管理を継続的に実現する方法をハイパーテキストにて記載しています。



マニュアルの基本シナリオとストーリー画面
(ストーリー「農業用水路を大切に管理しよう」を開いたところ)

本マニュアルの特徴は、住民参加の段階（基本シナリオ、11項目）に沿ってストーリー（その時々に行う作業の目的や理由、26項目）と、ツール（その詳細な研究開発技術と実施方法、102項目）で内容が構成され、場所設定、必要人数、所要時間、必要な用具、具体的な方法などが一目で分かるようにしている点です。

地方自治体や土地改良区等の職員向けに作成されています。

普及等の見込

マニュアルは右記のようなDVDに保存され、事例集も収録されています。宮城県内の地方自治体や土地改良区等に配布する予定です。

宮城で行ったワークショップ



子供たちによる魚道の効果確認



住民による魚道のパーツづくり



宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL:022-383-8111(代表) FAX:022-383-9907(代表)
ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)